

# 生徒指導通信

新潟県立三条東高等学校  
生徒指導部  
令和元年 11月5日 No.7

## ○ラグビーから学ぶこと

ラグビーW杯日本大会が開催され、日本代表は残念ながらベスト8で敗退しましたが、その健闘ぶりに多くの感動をもらいました。新潟県出身の稲垣啓太選手も「笑わない男」として有名になり、その存在感は同じ新潟県人として誇りです。また、プレーヤーだけではなくホスト国日本の「おもてなし」や観戦者の参加の仕方等も海外から賞賛され、大会全体が盛り上がりました。

①日本チームの予選リーグアイルランド戦に勝利した後、稲垣選手のインタビューからの一言です。

「規律を守り、後半まで粘り強くフランを遂行できたことが勝因」。ラグビーにとっての「規律」はルールとかフェアプレイではなく、「One for all, All for one」の精神と練習して準備してきたことを確実に実行する「チームプレイ」を意味します。私たちも生活の中の規律を守っていきましょう！

②試合の様子をテレビ等で見ていると監督が観客席から試合観戦している様子を気にしたことはありませんか？ 他の競技であれば、ベンチやコートのサイドに席があり、作戦や指示、タイムアウトをとったり、選手の交代を指示し采配を振ります。でもラグビーの監督はそうではありません・・・。

諸説あるようですが、主な理由としては選手の自主性を重んじ、試合が始まれば全てコート内の選手だけで考え、試合を行う。選手の交代は監督の指示でおこなうものの、それ以外、監督は部外者として観客席から試合を見守るということだそうです。

スポーツにはルールがあり、細かくきまりが定められています。そんな当たり前のことは試合以前の問題で守られて当然のこと、さらにラグビーでは試合の流れを見て、全体がチームの一員としてどうしたらいいのかを考え、チーム内のキャプテンがまとめて、1つの団結した動きを造りだし、ベストなパフォーマンスをする。このことができた

だからこそ桜 JAPAN（日本代表）はすばらしい活躍をし感動を与えてくれたのではないのでしょうか？

さて、私たちの普段の生活ではどうでしょう？ ひとりひとりが三条東高校の生徒として考えて、常にベストな行動が出来ていますか？「自分一人くらい」「これくらいはいいだろう」「みんな（みんなではない）やってるから」と勝手に理由をつけて行動をしていませんか？ 極端な話ですが、みんながみんな（当然自分にとって）にとってベストな行動出来るのなら、はっきり言って、細かいルールやきまりなんていらないのです。でも、いまあるそのきまりは最低限守らなければならないものとして考えて行動しましょう。

## ○自転車通学者へ

★駐輪場（校内）について

校内の駐輪場は学年で場所を指定され、整然と駐輪するよう指導をしています。

しかし、学年のエリアは守って駐輪されているものの、「後輪がはみ出ている」、

「狭いスペースに無理矢理突っ込んでいる」等のマナーの悪さが目立ちます。こ

の状態から考えられることは、逆に整然と駐輪出来ている（マナーが守られている）生徒は早めに登校し、ゆとりを持って行動できている状態だと思います。そう考えると正しく駐輪出来ない生徒は時間に余裕無く登校し、急いでいる様子から、おそらく登校の道中もあわてて自転車をこぎ、交通マナーも守れていないのではないかと予想されます。しっかりと駐輪出来るように生活・行動を見直すことで、様々な問題が解決されてくるのではないのでしょうか？



## ○最善をつくす・・・。

みなさんは普段の生活の中で、「精一杯やってよかったなあ」と思えること、最近ありましたか？

努力が報われることは、次の行動への大きな原動力や推進力になり、生活において良い循環を生み出すことにもなります。また、必ずしも努力したことが報われるものだという確証はないことが多いですが、努力する過程

で得る達成感や思考、知識、人間関係等、それ自体が大変有益なことです。

学校生活において「最善」をつくしていますか？報われることに最初から期待するのではなく、「最善」をつくして努力する素敵な自分自身に期待していきたいものです。

「最善」をつくすことについて、ディズニーリゾートであった話題を載せました。一緒に考えてみましょう。



### ～サイン手帳に託された男の子の夢～

ある日、一人の中年男性がインフォメーションセンターに来ました。

男性「サインのたくさん書いてある手帳、落とし物ありませんか？」

ディズニーキャラクターからのサインを一人一人貰いにまわっている途中、あと少しの所でなくしてしまったそうです。しかし、手帳の落とし物はありませんでした。

この届け出を受けた女性スタッフの方は、心当たりの場所を男性にたずね、その各担当のスタッフに搜索を依頼しました。男性は2泊3日で来ていると聞き、最終日までに探しておきますと約束しました。

結局、手帳は見つかりませんでした。

そして、最終日。男性に手帳が見つからなかったことを伝えました。男性はひどく落ち込んでいました。すると、女性スタッフが一言、「こちらではダメですか？」その女性の手には見慣れない手帳が。

その女性は男性から聞いた手帳と同じ物を探し、そして購入し、ディズニーキャラクター全員分のサインを完成させていました。男性はものすごく喜んで受け取って行きました。

その後、1週間がすぎてその男性から1通の手紙が届きました。

『手帳を作ってくれて本当にありがとうございました。本当に感謝しております。どうしてもあなたにこの感謝を伝えたく、お手紙させて頂きました。』

実はあの日、手帳を無くしたのは、息子なのです。その息子は、小児ガンでいつどうなってもおかしくないと言われている状態でした。息子はディズニーキャラクターが大好きでした。彼の夢を叶えるために、ディズニーランドにお邪魔しました。息子の夢は「ディズニーキャラクター全員からサインを貰うこと」だったのです。その夢をあなたがかなえてくれました。

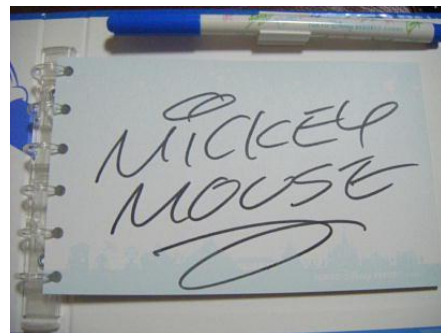
昨日、息子が永眠につきました。安らかな寝顔で、手には手帳を握りしめていました。産まれた時から入退院の繰り返しで、苦しみ続けた息子があの日、最高の笑顔で喜んでいました。そして、今の安らかな寝顔もあなたからの手帳のおかげです。本当にありがとうございました。』

この手紙を受け取った女性はその場に泣きながら崩れ落ちたそうです。

それは少年に対する哀しみと、「仕事を常に100%で取り組んでいて本当によかった」という安堵の涙です。

引用元：「考える人へ あなたの価値観は180度、変わる。」

(<http://kangaeruhito.com/blog-entry-204.html>)



新潟県立三条東高等学校 生徒指導部 係：坂爪

TEL 0256(38)6461